

豊中みどりの交流会

こんな活動をしています！

花苗プロジェクト

花苗プロジェクトでは、年2回、春まきと秋まきの種をみんなで決めることから始めて、種まき、ポット上げ、植え付けのほか、花壇整備、土づくり、各イベントの企画・実施など、メンバー各自の地域での花壇の管理もしながら、和気あいあいと活動を続けています(私は、豊中駅前で主に銀行の花壇への植栽活動をしながら交流会に参加していて、皆さんと活動を続けています)。育てた花苗は、地域の花壇や小学校、施設などに配付しています。

我々の活動も、10年以上続けていると、高齢化の波が押し寄せています。どんな団体も持っている共通の悩みだと思いますが、次にバトンを渡す人達をどのように探すか、育てるか、考えていく必要があります。

この活動には多くの方々の力を必要としています。皆さまも活動に参加してみませんか。お待ちしております。

地域みどり学習プロジェクト

みどりについて広く学ぶ視点から、ヒント集の作成や見学会、地域のみどりの活動団体の紹介など、みどりに関して広く活動していきたいと思っておりますので、みなさんのご参加お待ちしております。

活動に参加しませんか!!

★ 園芸を始めてみたい方、花や樹木を育てたい方、花壇の植付けやお世話をしたい方

★ ゴーヤのみどりのカーテンの活動に参加したい方、学校のカーテンづくりの支援をしたい方

★ 企画提案や立案をしたい方、みどりの広報活動をしたい方、交流会の運営に参加したい方

★ みどりのつどいに参加したい方、みどりのフォーラムに参加したい方

歓迎!!

みなさんのご参加
お待ちしております!

みどりのカーテンプロジェクト

今年度は、32 小学校(約 2,900 人)の児童にみどりのカーテンづくりに取り組んでいただきましたが、6 月下旬～7 月上旬の異常気象、地震や二度の台風による被害で、育ち方もいろいろありました。

みどりのフォーラムでは、大池小学校の皆さんに、取り組みの成果を発表していただきました。

2019 年度も 4 年生の授業支援として頑張りたいと思います。皆様のご支援よろしくお願いいたします。



みどりのつどい

日時 平成 31 年 (2019 年)

3 月 17 日 (日) 10:00~12:00

場所 花とみどりの相談所 (豊島公園内)

内容 講習

「種まきから楽しむ草花の育て方」

(花とみどりの相談所 相談員 辻本弘美さん)

次年度活動計画、意見交換

種まき体験 など

ご参加の方に
種まきキットを
プレゼント!
(お花の種・土・種まきトレイ)



豊中みどりだよりは、みんなで、どんどん、りょっか(緑化)しよう!という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



みどりのフォーラム 2018



『みどりのフォーラム 2018』を開催しました!

■「ひろげよう人とみどりの“わ”」をテーマに、平成 30 年 (2018 年) 11 月 18 日 (日)「豊中市立文化芸術センター」にて開催しました。おかげさまで、たくさんの方にお越しいただくことができました。

▼基調講演: 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 上南木昭春さん

▼活動発表: 豊中平成病院 園芸療法士 畑岡晴美さん、大池小学校 4 年生児童、豊中みどりの交流会

▼市 報 告: 豊中市環境部公園みどり推進課

▼演 劇: 豊中市民劇場 劇団“萌”

▼パネル展示: <みどりのカーテンづくり>市内小学校(32 校: 克明・桜塚・大池・蛍池・桜井谷・熊野田・中豊島・豊島・小曾根・上野・新田・庄内・庄内南・庄内西・野田・島田・東丘・東豊中・豊島西・西丘・刀根山・南丘・豊島北・泉丘・野畑・箕輪・北条・寺内・緑地・桜井谷東・東泉丘・新田南)、市内こども園(小曾根・栄町・庄内西・野田・服部・原田・本町・せんなり)、ひかり保育園、ゆたか保育園、わかば保育園、春日荘聖マリア幼稚園、豊中文化幼稚園、第十四中学校、議会棟(環境政策課)、消防本部、千里文化センターコラボ、豊島体育館、くらしかん、地域福祉活動支援センター(東豊中・庄本)、ふれあい緑地テニスコート、猪名川流域下水道事務所、豊中親和会みらい、豊中親和会第 2 みらい、豊中愛和会あすなろ、きらら作業所、上野デイハウスしもつき、幸楽の里、青年の家いぶき(ガールスカウト)、豊中あぐり塾、労働会館(順不同)

<みどりの活動団体>豊中緑化リーダー会、親和自治会、親和自治会、上野連合花壇同好会、豊中駅前まちづくり推進協議会、豊島北ビオトープクラブ、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、ヒメボタル保護者会、島熊山緑地協議会、豊中平成病院、豊中みどりの交流会(順不同)

▼工作・体験: ペットボトル鉢カバーづくり、カード工作、紙皿を使ったリースづくり、缶バッジづくり

▼花いっぱい運動写真展

みどりのフォーラム 2018

今回の「みどりのフォーラム」は、豊中市立文化芸術センターで開催しました。展示室では、みどりのカーテンづくりや花やみどりの関係団体のパネル展示をはじめ、ペットボトル鉢カバーづくり、ガリガリプロペラ（カード工作）、紙皿リースづくり、缶バッジづくりなどを行いました。

また、小ホールでは、基調講演、活動発表、意見交換会を行いました。さらに、今回は、豊中市民劇場劇団「萌」による演劇「空に咲く花、地に咲く星」の上演を行い、会場を大きな感動で包みました。晴天にも恵まれ、158人の来場者があり、盛況のうちに終えることができました。



基調講演 「地域の拠り所となるみどり」

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 上南木 昭春さん

なぜ都市にみどりがあるのかというと、みどりには、都市環境を制御する役割があり、都市環境を改善するといった大きな目的があるからです。また、グリーンエリアには、災害時の延焼防止など都市防災の機能もあり、都市において、みどりは無くてはならないものです。さらに、象徴としての意味合いもあります。例えば、東京にある日比谷公園は、文明開化の顔にふさわしい公園として、作られました。このように、みどりは、我々が生活する上で基盤になる役割を持っています。

近年、みどりを取り巻く社会動向が、変化してきています。都市における象徴的グリーンインフラが獲得され、それに加えて花の生活文化が開花しました。さらに、花とみどりの風景づくりが地域で展開され、異分野の交流と協働、継続的な人材の育成と活躍の場が創出されました。第2次豊中市みどりの基本計画においても、「みどりを守り育てる・つくる・活かす」を市民参加や市民との協働により進めていくとされています。

そして、地域の拠り所となるみどりは、地域コミュニティの核にもなります。例えば、神社仏閣などには、鎮守の森があります。この鎮守の森は、鎌倉時代からあり、地域の人々が集まって交流する場所でありました。地域の目印、交流の場となる拠り所性を持っており、地域コミュニティの活性化に向けた拠点となります。



最後に、みどりを探る視点というのは、防災性、レクリエーション性、景観性、生態性という緑地の基本的な機能に加え、そこに住んでいる人にとっての拠り所になる精神性や地域として成熟していく文化性など多面的なアプローチが必要になるのではないかと思います。

「植物のパワーをリハビリに生かそう～園芸療法でいきいきと～」

医療法人康生会 豊中平成病院 園芸療法士 畑岡 晴美さん

園芸療法とは、病気などにより心身の機能が低下している方に対し、身近な植物を用いて状態を改善させることを目的とした療法です。豊中平成病院では園芸療法を実践して11年目となります。

植物と過ごすことで、季節や時間の感覚の体得や自我の育成、また、植物を感じることで、五感が刺激され、気分転換や疲労回復が期待されます。さらに、植物を採ることで達成感、充足感、有用体験を得るなど、植物を育てた喜びが倍増します。園芸療法では植物を使うことも重要になり、自我の保持、拡大、開放、欲求充足を得ていただいています。他の療法と違い、人により好みの差が少なく、また、人や動物と違い、植物は人に緊張を与えないということがあります。そして、育ちを共に、生活のリズムを呼び戻し、生きる意欲を引き出します。園芸療法士は、病気やけがを直接治すわけではありませんが、植物を通じて患者さんに癒しや楽しみ、活力を提供して、元気になってもらえるよう努めなければなりません。

私たちが園芸療法を実践し、普及させて行くためには、園芸療法独自の評価方法が必要になります。しかし、園芸療法は、まだまだ発展途上であり、園芸療法独自の評価方法が少ないのが現状であり、そのため、私たち園芸療法士は、様々な方に合わせたプログラムを立案し、実践することが重要となってきます。さらに、リハビリスタッフと連携し、園芸療法を展開すれば、より良いサービスを提供できると実感しています。また、患者のみならず、家族へも園芸療法の良さを発信することが普及活動の1つと考えます。今後も継続して実践していきたいと思います。



「ゴーヤの命をつなぐ」 豊中市立大池小学校 4年生児童のみなさん

大池小学校の4年生は、前年度に収穫したゴーヤの種を使って次の学年が種から育てるという「命の引き継ぎ」を行っています。初めて取り組む児童がほとんどですが、豊中みどりの交流会や地域の緑化委員さんの指導の下でがんばって育てました。

5月には苗をプランターや花壇に植え換えて、各クラスで水やりや摘芯をしながら、大切に育てていきました。育てたゴーヤの種類は、よく見る形のアバシゴーヤ、細長くなる長レイシ、真っ白の白ゴーヤといろんな形や色のゴーヤが実りました。

実ったゴーヤはゴーヤチャンプルのほか、スパゲティや餃子など、自分たちでいろんな料理にして食べました。とてもおいしかったです。

今回の取り組みを通して、涼しい自然のカーテンづくりから地球温暖化などの環境問題についても考え、自分たちにできることに目を向けてきました。そして、みどりが夏の暑さを和らげてくれること、自然の恵みを収穫することの喜び、自然と共存し命や自然を守ることの大切さを学びました。これらのことを、私たちも来年の4年生にも伝えたいです。



演劇 「空に咲く花・地に咲く星」

豊中市民劇場 劇団「萌」

みどりのフォーラムのためだけの「みどり」をテーマにしたオリジナルの創作劇を演じていただきました。

